

平成 25 年度の学生支援活動について

教育研究支援基金運用 G 關 金一（昭和 56 年応化卒）

同窓会の組織改正に伴い、教育研究支援制度が始まってから随分年月が流れ、学生への支援を主目的として本制度は着実に成果を上げつつあります。教育研究支援基金の運用は以下の規定に基づきなされています。

横浜国大理工学部化学系同窓会（国大化学会）
教育研究支援基金 規定

- (1) 「国大化学会教育研究支援基金」は横浜国大理工学部化学・生命系学科化学 EP の支援を目的とし、横浜国大理工学部化学系同窓会（略称：国大化学会）が運営を行う。
- (2) 「基金」の事務局は、同窓会事務局とし、随時、支援プログラムの受付を行なう。
- (3) 同窓会内に化学系教員からなる運営グループ（「基金運営グループ」という）を設け、当該運営グループが資金の運用を計画する。
- (4) 事務局は、(2) 項の受付を行なった場合には、(3) 項の「基金運営グループ」の責任者に報告する。
- (5) 「基金運営グループ」の責任者は、国大化学会執行役員から選出される。
- (6) 資金の運用計画は、国大化学会役員会に諮り、承認を受ける。
- (7) 「基金」の会計監査は、国大化学会の監査と同時に進行する。
- (8) 「基金」の継続、発展に鑑み、国大化学会からの継続的な資金サポートを行う。

実際に現在行われている事業は上記規定に基づき運用 G 検討の上、役員会で審議され実行されており、基本骨格は次の3点です。

- 1) 学会参加費用の補助
 - 2) 学内で行われる新入生歓迎会等に関する補助
 - 3) ドクターコーススタートアップ支援：大学院博士課程に進学する学生に対する奨学金支援
- 1)、2)については従来行われていた事業で本年度も継続して行われているものです。3)は新たに導入されたもので、これについて少し以下説明していきます。横浜国立大学の大学院の課題として、大学博士後期課程の進学者を増加させることが求められており、教員の方からの要望にこたえる形で本年度より

施行されています。以下の支援規定に基づきドクターコーススタートアップ支援という名で実施される運びとなりました。

横浜国大理工学部化学系同窓会（国大化学会）
教育研究支援基金
ドクターコーススタートアップ支援 規定

化学教育プログラム学生のドクターコースへの進学支援を目的として以下の募集を行う。

- 1) 応募資格
 1. 国大化学会の学生会員(4年卒業時の会費納入済み)
 2. 横浜国立大学 大学院工学府機能発現専攻 先端物質化学コース 博士課程前期(修士課程)または環境情報学府の博士課程前期(修士課程)に在籍し、同コースから博士課程後期(ドクターコース)に推薦進学する学生。
 - ※1. 他大学から横浜国立大学の大学院に入学した学生であっても、博士課程後期の推薦入試の時期までに国大化学会会費を納入していれば資格を認める。
 - ※2. 日本学術振興会特別研究員 DC1に内定している者、その他奨学金のサポート予定のある者、および国費留学生においては本支援の対象外とする。
- 2) 募集時期・支援内容・支援時期
 1. 募集は毎年1月末に行う。
 2. ドクターコース スタートアップ支援金として、各年3月中旬頃までに30万円を支給する。
- 3) 採用予定人数、採用決定審査
 1. 若干名
 2. 申請後に国大化学会の役員会で審議の上、採否を決定する。

以上のように基金の運用が有意義な形で行われています。これからも、同窓会会員の方々の温かいご支援を学生、大学にお寄せくださいますようお願いいたします。

(基金の具体的な予算、決算は別ページに取り上げられておりますので、そちらもご参照ください。)